

かなざわリージョナルシアター「げきみる」の上演作品を観て、  
専門講師の指導の下で劇評を書きインターネット上で公開するまでを体験する

# 劇評講座

## 観客のための講座

演劇は誰のものか？別に哲学的な問いを発しているわけじゃない。  
そこに戯曲があり、演出家がいる、俳優がいる。  
そこに舞台があり、音響、照明が効果をあげる。  
彼らは演劇のプレイヤーたちだ。  
しかし、演劇には観客がいる。観客だって演劇の重要な構成要素じゃないか。  
だから観客たちも声をあげよう。  
プレイヤーたちと対等な平野に立ってともに舞台を創りあげよう。  
たったひとつ、「言葉」という武器だけを頼りに。

開催期間：

2020年10月～12月

(詳細は裏面をご覧ください)

会場：金沢市民芸術村事務所棟

受講料：6,000円

※受講料(3,000円)と全公演の観劇料を含みます。

定員：5名(定員に達し次第締め切ります)

申込：お名前、ご連絡先(電話番号)を明記  
のうえ、10月9日(金)までに  
下記アドレス宛にメールでお申し込み  
ください。講座の詳細を記載した受講  
ガイドをお送りします。

お問い合わせ：金沢市民芸術村ドラマ工房  
([dramakoubou@gmail.com](mailto:dramakoubou@gmail.com))

【プレクチャー】

「劇評ってなんだろう？」

日時：10月17日(土) 14:30～16:30

会場：金沢市民芸術村事務所棟

講師：山崎健太氏

- ・劇評を書くということ
- ・「感想」と「劇評」のちがい
- ・文章における著作権について

劇評講座を受講する方は必ず参加して  
ください。

※オンラインでの参加も可能です。

新型コロナウイルス感染症の感染状況などにより、講座中止または内容や開催日時等が  
変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【主催】金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会 【共催】金沢市・公益財団法人金沢芸術創造財団

【お問い合わせ】金沢市民芸術村ドラマ工房 TEL 076-265-8300 【担当ディレクター】徳田恵美・竹下実季子